

<対策のポイント>

メタン発酵後の副産物をバイオ液肥等として地域で有効利用するための取組を支援します。

<事業目標>

バイオマス利用量の拡大 (約2,600万トン (炭素量換算) [令和7年まで])

<事業の内容>

メタン発酵後の副産物をバイオ液肥としてほ場に散布するための費用を定額で支援します。

1. 散布機材や実証ほ場を用意し、メタン発酵バイオ液肥を実際にほ場に散布する (散布実証)。
2. 散布実証の結果に加え、バイオ液肥の成分や農作物の生育状況を調査・分析し、バイオ液肥を肥料として利用した際の効果を検証する (肥効分析)。
3. 検証の結果を整理し、普及啓発資料や研修会などを用いて、地域農業者等にバイオ液肥の利用を促すことで、利用範囲を拡大する。

<事業イメージ>

①バイオ液肥を実際にほ場に散布



②バイオ液肥の肥効分析・農作物の生育状況調査等



③検証の結果を整理 地域の農業者に普及



本事業の補助対象範囲

- ・ バイオ液肥の散布実証にかかる経費 (散布機材のリース、実証ほ場の確保等)
- ・ バイオ液肥の成分分析
- ・ バイオ液肥を散布したほ場の土壌分析
- ・ バイオ液肥を使用した農作物の生育状況調査
- ・ 上記試験結果の整理及び分析
- ・ 研修会の開催 (試験結果等について、農業者に説明)
- ・ 普及啓発資料作成、サンプル提供

<事業の流れ>

